

3 学生部・総務部校友課調査

(1) 学生部・総務部校友課調査の成果と課題

第1回 学生部調査 2015年2月26日（木）

学生部が保管する校史関連の史資料を15号館2階、11号館1階、10号館9階、本館5階の順で回り、確認した。保管場所と史資料は次の通り。

- ① 15号館2階 … 連合会・自治会・学部・ゼミ・独立団体の行事報告書、クラブ活動 報告書（年間報告・クラブ紹介）、学生証用写真添付用紙
- ② 11号館1階 … 奨学金募集受付時に利用する物
- ③ 10号館9階 … 学生カード
- ④ 本館5階 … 学生台帳

第1回 総務部校友課調査 2015年2月26日（木）

総務部校友課に保存されている校史関連史資料の調査を10号館10階で実施した。確認した史資料は以下の通りである。

- ① 『校友名簿』（近畿大学、大阪専門学校）
- ② 『近畿大学校友会報』
- ③ 『近畿大学校友会報 幹事会議資料号』
- ④ 卒業生の寄贈品
- ⑤ 学内公認団体・オリンピックに関する記念品

第2回 総務部校友課調査 2015年8月5日（水）

10号館10階で前回確認した保存資料『校友名簿』（近畿大学、大阪専門学校）に絞って内容の確認を行った。確認済みのものからリストを作成した。

今回の学生部・総務部校友課調査の成果は、これまではほとんど活用されてこなかったと思われる学生部と総務部校友課に保管されている校史関連史資料の保存状況を確認できたことである。学生カードなどが本学在籍の証として大切に整理・保存されているのも印象的であった。今後百年史編纂を想定する場合、学生部（本館5階）所蔵の基本史資料が大いに役立つものと考えられる。

今後の課題は、以下の4点である。①クラブ関連史資料の調査を行うこと、②重要な史資料の目録を作成していくこと、③クラブの記念誌の発行状況と資料の確認を行うこと、④卒業生の保管物提供の呼びかけの準備（実際に新聞スクラップを保管されている方もおられ、お借りすることも検討中である）の4点である。

これらの史資料には個人情報が多く含まれるため、学生部・総務部校友課と緊密に連携をとりながら、第2期も引き続きから慎重に作業を進めていきたい。

（2）総務部校友課調査で確認した史資料のリスト

注：表中の「迄」は全て異体字の「迄」。〈 〉内の番号は現物になし。個人名は原則削除。

リスト1

史資料保存場所：総務部校友課（東大阪キャンパス10号館10階）

調査年月日：平成27年8月5日

保存スペース	個別資料名	編集者	発行者	発行年	内容	備考
事務所書架	『会員名簿 （法商学科之部）』	—	学校法人近畿 大学・大阪専 門学校校友会	1951年	写真・沿革・役員・ 教員・職員正会員・ 卒業生の所属・動向	—
事務所書架	『会員名簿』	—	学校法人近畿 大学・大阪専 門学校校友会	1956年	—	—
事務所書架	『会員名簿』	野口房雄	近畿大学校友 課 酒井栄一	1957年	校友会会則・校友会 役員・校友会支部・ 近畿大学役員・近畿 大学教職員・卒業生 （大阪専門学校・大 阪理科大学・大学 院・近畿大学・短期 大学（新宮分校を含 む）	近畿大学校友 課『近畿大学校 友名簿』追録Ⅲ （昭和35年卒） も同梱
事務所書架	『会員名簿 [昭和32年用 再版]』	—	—	1959年	—	1957年の再版 本
事務所書架	『校友名簿』	近畿大学校友 会	—	1962年	卒業生の所属、卒業 予定者（昭和37年）	—
事務所書架	『校友名簿』	近畿大学校友 会名簿作成委 員会 委員長 野口房雄	近畿大学校友 会	1965年	卒業生の所属・動 向、 卒業予定者（昭和40 年）	昭和26年初版 発行後、5年毎。 昭和37年から 名簿発行を3年 毎。
事務所書架	『校友名簿』	—	近畿大学校友 会	1968年	卒業生の所属・動 向、 卒業予定者（昭和43 年）	—

事務所書架	『校友名簿』	近畿大学校友会名簿作成委員会 委員長 大西敏夫	近畿大学校友課	1969年	卒業生の所属、卒業予定者（昭和44年）	3年毎の名簿発行を2年毎に変更
事務所書架	『近畿大学校友名簿』	近畿大学校友会名簿作成委員会	—	1970年	沿革・世耕弘一先生写真・世耕政隆先生・近畿大学校友会役員・近畿大学役員・評議員・参与・学部・卒業生の所属・卒業予定者（昭和45年）	—
事務所書架	『近畿大学校友名簿』	近畿大学校友会名簿作成委員会 委員長 大西敏夫	—	1972年	卒業生の所属・動向、卒業予定者（昭和47年）	—
事務所書架	『近畿大学校友名簿』	近畿大学校友会名簿作成委員会 委員長 大西敏夫	—	1974年	卒業生の所属・動向、卒業予定者（昭和49年）	—

（リスト作成者：井田 泰人）

4 中央図書館調査

（1）中央図書館調査の成果と課題

これまでの中央図書館現況調査について報告を行う。まず平成26年11月19日に第1回現況調査が実施された。主な調査内容としては、中央図書館職員によって作成された所蔵状況リストに基づき、『中央図書館 図書館運営委員会議事録』、『中央図書館 図書館報』、『中央図書館 図書館だより』、『中央図書館 Library Guide』などの史資料の閲覧を中心に行った。

次に、第2回現況調査を平成26年12月17日に実施した。調査の内容は、中央図書館に保管されている校史関係史資料の保管場所、保存状態を確認するため、中央図書館職員による引率で、貴重書室、マイクロフィルムなどが保管されている特殊資料室、和装本の保管室、特別書庫、倉庫、11号館1階書庫、11月ホール地下2階書庫の見学と各種史資料についての確認が主なものである。また、寄贈図書の資産台帳を所蔵状況リストに基づいて調査した。

以上のような調査の成果としては、下記に示された所蔵状況リストを入手したことである。

- ① 『中央図書館 図書館運営委員会議事録』
- ② 『中央図書館 図書館報』
- ③ 『中央図書館 図書館だより』
- ④ 『中央図書館 Library Guide』
- ⑤ 『中央図書館 Library Guide（法科大学院分室）』